

平成 26 年 10 月 28 日

長野県感染対策研究会
代表世話人 本田孝行
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会
担当者 征矢 佳輔

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS) による長野県各地区の耐性菌検出状況についての報告 ～2014 年 9 月データについての報告～

2014 年 9 月の VRSA、多剤耐性アシネトバクター、カルバペネム耐性セラチアの検出はありませんでした。

＜バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）の検出状況について＞

長野県全体の検出率は 0.2%でした。2011 年度より当システムにて検出調査を行っていましたが、初めて VRE が検出されました。南信地区にて *vanA* 型の *Enterococcus faecium* が 2 例検出されましたが、感染対策が講じられ、現在のところ終息しております。引き続き、注意が必要と考えております。

＜MRSA の検出状況について＞

長野県全体の検出率は 7.4%でした。JANIS での全国平均検出率は 8%でほぼ全国での状況と同様と考えられます。各地区の時系列での検出率に大きな変化はありませんが、南信地区では他の地区と比べ 10.3%と高い検出率が続いています。

＜多剤耐性緑膿菌の検出状況について＞

長野県全体の検出率は 0.0%でしたが、東信地区で 1 件検出されました。JANIS での全国平均検出率は 0.14%であり、長野県の検出状況は低い状況にあると考えられます。

＜第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の検出状況について＞

長野県全体の検出率は 0.9%でした。JANIS での全国平均検出率は 1.3%でありほぼ全国での状況と同様と考えられます。各地域の時系列での検出率では、東信地区で 5 月以降増加傾向が認められましたが、8 月以降は減少傾向を示しています。また、中信地区で 7 月以降微増傾向が認められます。現在、CLSI M100-S22 以降の判定基準に基づいた検査パネルをご利用されている施設では、検出率が低く集計されております。自施設での検出状況と異なる場合がありますのでご注意ください。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者までご連絡お願いいたします。

お問い合わせ先
信州大学医学部附属病院臨床検査部 松本 竹久
TEL: 0263-37-3493, e-mail: ggatcc@shinshu-u.ac.jp